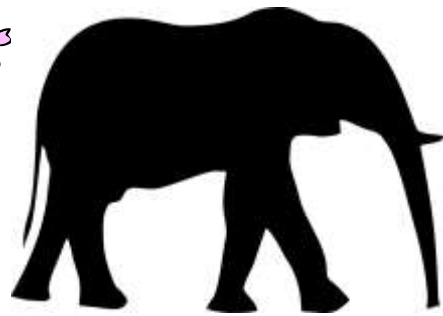


このまちで **生** き、そして、 **死** んでゆくために

# 日本とタイの実践者から 看取りの場作りを考える

9月10日(土)

13:00~17:00



タイでも、高齢化が進み、介護・看取りを支えてきた家庭や地域の枠組みが揺らいでいます。そのようななかで、「心豊かな死を迎え看取りの場づくり—日本国西宮市・尼崎市とタイ国コンケン県ウボンラット郡の介護実践の学びあい」が行われました。両国の看取りの場づくりに関わる実践者、医師、看護師、僧、NPO 関係者などがお互いの現場を行き来し、学びあいました。本シンポジウムでは、その成果を話し合い、また、シンポジウム参加者が自分たちの地域で実践をおこなうためのアイデアを提供していきます。

場 所：西宮市民会館 301号室

(西宮市六湛寺町 10-11)

阪神電車 西宮駅 東出口(市役所口)すぐ

参加費：無料 (懇親会費：3,500円)



## シンポジスト

- ◇ウイリヤタムソポン師 (タイ国コンケン県ウボンラット郡ウサッハ寺住職)
- ◇オラサー コンタルン教授 (タイ国コンケン大学看護学部地域看護学教授)
- ◇タンティップ タムロンワランクーン医師 (NPO 持続可能な地域づくり事業団代表)
- ◇丸尾多重子さん (NPO 法人つどい場さくらちゃん理事長)
- ◇若杉正明さん (元西宮市職員、株式会社ゆめみらいマネージメント代表)
- ◇長尾和宏医師 (長尾クリニック院長)

プログラムと申込書は裏面にあります。

第1部 看取りの場づくりのヒント

PM1：00～3：30

①ウイリヤタムソボン師

「死を認めていくこと・タイ人の死生観とお寺を利用した高齢者と地域住民の活動」

②オラサー コンタルン教授

「コミュニティーの人々を中心にした保健活動—地域の一員としてのケア従事者だからこそできること—タイの地域看護師の視点から」

③タンティップ タムロンワランクーン医師

「病気だけを診るのではなく、コミュニティー全体を診る—コミュニティーの人々を支援するタイの公立ウボンラット郡病院とタイ国王が提唱する村の自立を促す“足るを知る経済”—」

④丸尾 多重子さん

「何かをやりたいけど、何もやってない人へ。迷い、考えるより、まずやり、失敗しながらも続けていくこと。」

⑤若杉 正昭さん

「この町で生き、死んでいくために、行政そして企業を巻き込むには？」

⑥長尾 和宏医師

「この町で生き、死んでいくために—病院でも施設でも家庭でも、そして一人でもこころ豊かに死んでゆくために」

第2部 自分でやってみよう

PM4：00～5：00

自分で書いて、そしてグループで話してみよう「あなたとみんなで考える。このまちでこころ豊かに死んでゆくために」

お申込み・お問合せ

先着順：50名（9月1日まで）  
電話かFAXで、参加者名団体名（人数）  
住所・電話番号を右記までご連絡下さい。

参加申し込み書

こころ豊かな死をむかえる看取りの場づくり  
—西宮市・尼崎市とタイ国コンケン県ウボンラット  
郡の介護実践者の学びあい—代表 古山 裕基  
申し込み（つどい場さくらちゃん 気付き）  
TEL/FAX 0798-35-0251  
e-mail:hiroki-japan@hotmail.com

名前：	団体名：		
住所：〒	□自宅 □職場		
電話：	懇親会	参加・不参加	参加者合計 人

※満席等でご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

本プログラムはトヨタ財団国際助成プログラムから助成を受けております。